

第26回恩原高原

氷紋まつり

2月3日(土) 恩原高原スキー場において第26回恩原高原氷紋まつりが開催され、町内外から約13,000人(主催者発表)が訪れました。

特設ステージには、今年の干支である「戌」にちなんだ「こま犬」の大雪像が作られており、一緒に記念撮影を楽しむ来場者で賑わっていました。

会場では、踊りなどのステージ発表の他にも雪の中に埋められた宝を見つけ出す「宝探し」やタイムを競う「そりすべり大会」、3人1組のチームで争う「雪合戦大会」が行われていました。雪合戦大会には各地から9チームが出場し、コート内の壁に隠れながら雪玉を投げ合い、白熱した戦いを繰り広げていました。

フィナーレでは、レーザー&花火ショーが白銀のグレンデと雪の舞う夜空を鮮やかに彩り、尺玉が打ちあがると観客から大きな歓声が上がっていました。広島県から訪れた来場者は「前回来たときに花火がすごく綺麗だったので今年も来ました。来年もまた来たいです。」と話していました。

